

上田市文化財調査報告書第128号

市 内 遺 跡

平成28年度市内遺跡発掘調査報告書

2017.3

上 田 市
上 田 市 教 育 委 員 会

例 言

- 1 本書は長野県上田市における各種開発事業等に伴う遺跡確認のための、平成28年度市内遺跡発掘調査報告書である。
- 2 本文中の遺跡番号は、平成18年3月6日の上田市・丸子町・真田町・武石村の合併以前の市町村の番号を使用している。
- 3 調査は、国庫補助事業として上田市（事務局 上田市教育委員会事務局文化振興課）が実施した。
- 4 事業は、平成28年4月1日から平成29年3月25日まで実施した。なお、平成27年1月以降に実施した現地調査分については本報告書に掲載し、29年1月以降に実施した分については次年度の報告とする。
- 5 調査は、文化振興課の中沢徳士が担当した。
- 6 調査は主として、バックホーによるトレンチ調査を主として行った。
- 7 調査にかかる資料は、上田市立信濃国分寺資料館に保管している。
- 8 調査にかかる事務局の体制は、次のとおりである。
（教育長）小林一雄 （教育次長）中村栄孝 （文化振興課長）浅野之宏 （文化財保護担当係長）塩崎幸夫 和根崎剛 （文化財保護係）中沢徳士・滝沢敬一・松崎訓央
- 9 調査にあたり、施工主及び関係機関並びに地域の方々に、日程調整及び発掘調査の承諾等でご協力をいただいた。深く感謝の意を表するものである。

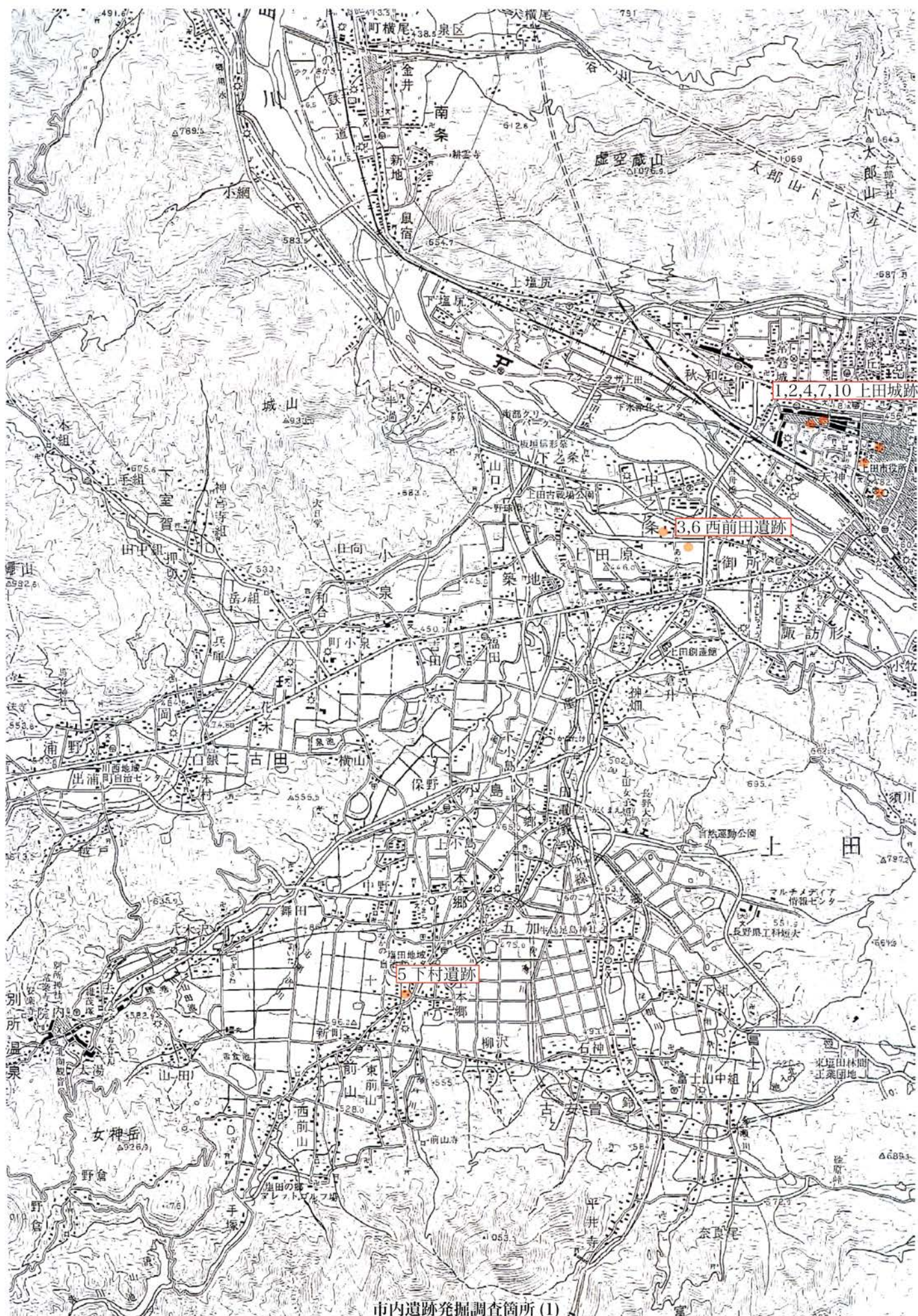
目 次

例言・目次

調査位置図

報告書抄録

1	山越遺跡		1
2	西前田遺跡		4
3	雁石遺跡		7
4	下村遺跡		10
5	西前田遺跡		13
6	上田城跡（御作事場）		16
7	常入遺跡群		19
8	染屋台条里水田跡遺跡		22
9	国分遺跡群		25
10	常入遺跡群		28
11	東紺屋村遺跡		31
12	山崎遺跡		34
13	渋取田遺跡		37
14	上田原遺跡		40





1 上田城跡

- (1) 調査地 上田市中央西
- (2) 遺跡番号 上田66
- (3) 原因 住宅建設
- (4) 調査日 平成28年6月3日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約50㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

経過

調査地は下紺屋町といわれ、上田城の城下町「紺屋町」に位置する町屋である。町屋の遺構については、いまだに解明されていない、というのが実情であり、このたび、住宅を新築するという計画が立ち上がったため、事前に遺構等の確認調査を実施することとした。

調査の結果

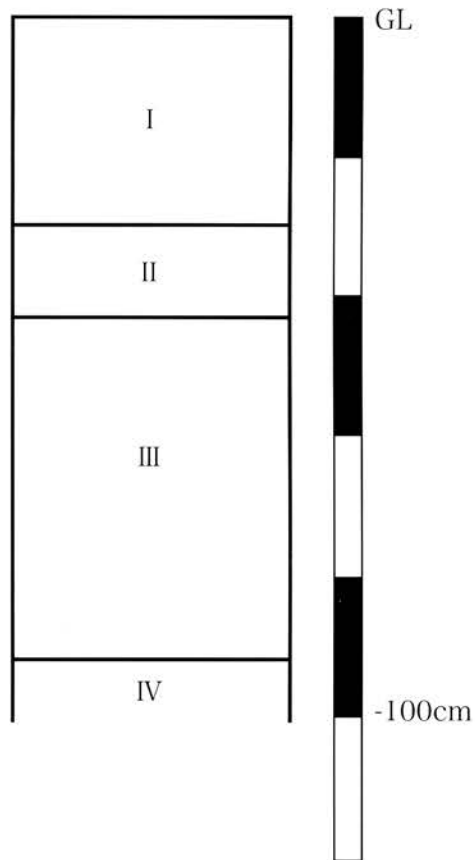
調査は、届出地に南北にトレンチを入れて実施した。その途中、暗渠排水と礎石の栗石遺構が検出され、陶磁器片も出土したため、あるいは城下町時代の建物跡かとも思われた。そこで深掘りトレンチを中断し、栗石と暗渠の検出のため、表土だけを剥ぐこととした。しかし、遺構の主軸方位が道路と若干ずれていることや、遺物に戦後のプラスチック製の遺物も供伴しており、時期判断に困惑した。その後、平成10年撮影の航空写真を確認したところ、遺構の主軸方位と合致する建物が写り込んでおり、また、所有者の聞き取りにより昭和9年築の建物が昨年末まで存在したことが判明し、出土遺構・遺物はそのときのものと確認され、調査地に近世以前の遺跡が存在しないことが確認された。



調査位置図 (1/2500)



上田城跡試掘調査トレンチ設定図 (1/500)



土層凡例

- I … 灰褐色表土
- II … 褐橙色弱粘質土 (栗石・暗渠排水溝検出面)
- III … 褐灰色強粘質土
- IV … 青灰色強粘質土 (シルト層)

上田城跡土層柱状図



トレンチ東拡幅（北から）
手前に暗渠排水、奥のスタッフのライン上に栗石が並ぶ



トレンチ南拡幅（北から）
手前の栗石の奥に心々 1.8m で別の栗石が検出される。



トレンチ拡幅（西から）

2 西前田遺跡

- (1) 調査地 上田市中之条519-4
- (2) 遺跡番号 上田302
- (3) 原因 学童保育建設
- (4) 調査日 平成28年6月14日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約80㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

経過

西前田遺跡は、『上田市の原始・古代文化』によれば、「中之条公民館の東方から、県道上田稲荷山線の北側に、東西およそ400m(東端は寺院裏付近)、南北およそ200mにわたって、東から東町・西町・宮方の5遺跡があり、県道南側の畑および水田地帯に、東西およそ600m、南北およそ100mにわたって、東から上前田・中前田・下前田・西前田の4遺跡が帯状に分布し、更に中前田遺跡の南方150mにわたって関石・額面の2遺跡がある。いずれも中期から晩期の土師器、後期の須恵器などを出土していることから、一体の遺跡と考えられる。」とあり、これまで発掘調査の例はない。

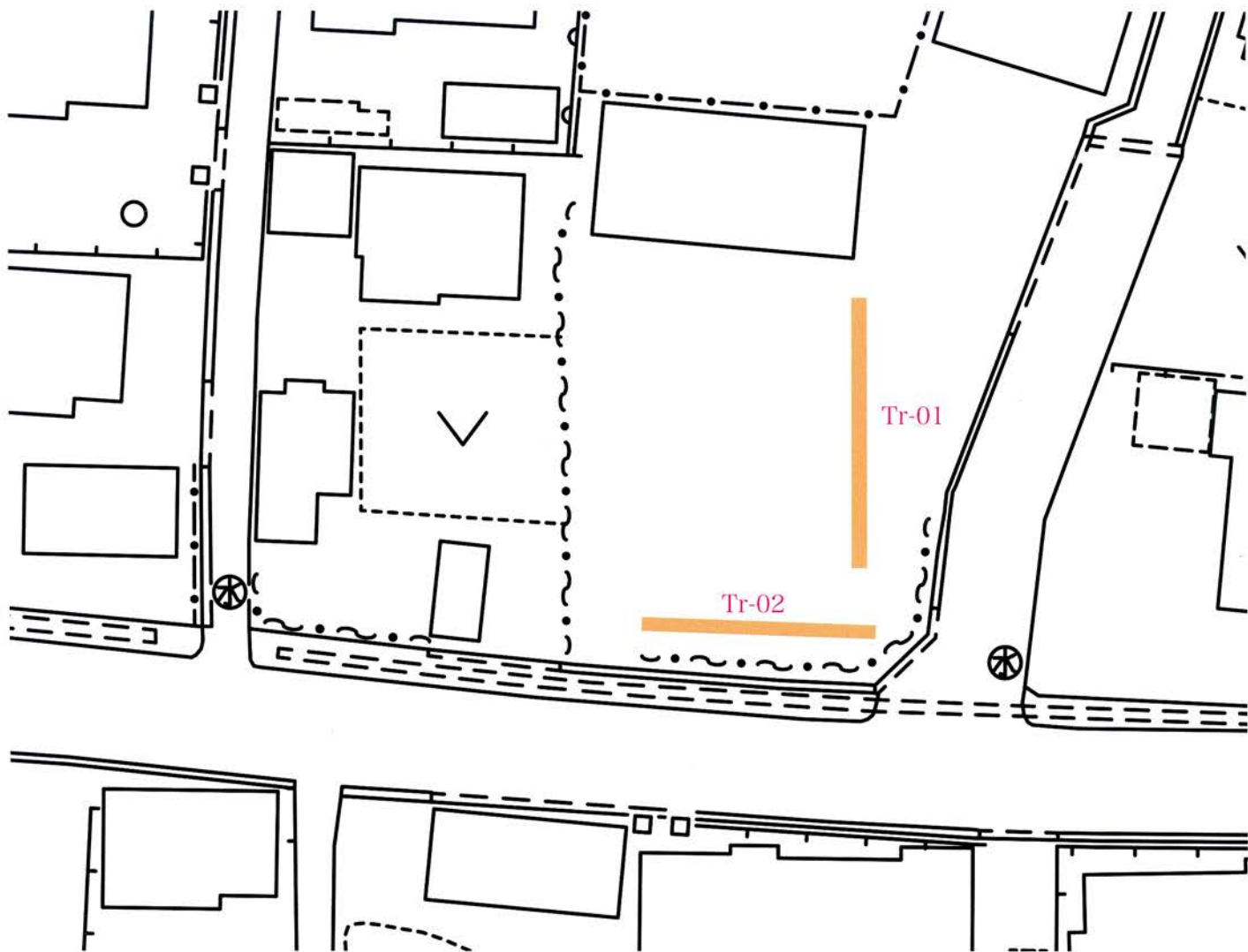
今回、この遺跡内で学童保育施設の建設工事が計画され、遺跡の確認調査を実施した。

調査の結果

調査は施工範囲に2本のトレンチを入れて実施した。その結果、遺構・遺物の検出はまったくなく、当該地に遺跡が広がっていないことが判明した。



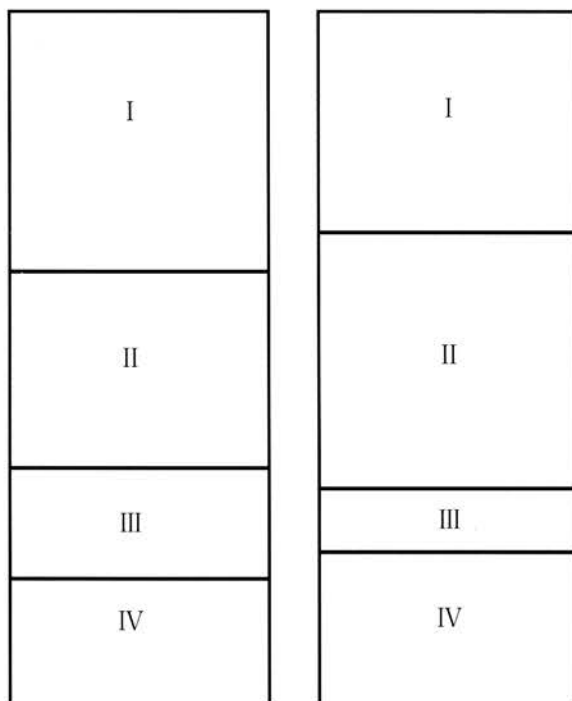
西前田遺跡調査位置図 (1/2500)



西前田遺跡試掘調査トレンチ設定図 (1/1000)

土層凡例

- I … 表土層（埋め土）
- II … 橙灰色弱粘質土層
- III … 橙褐色弱粘質土層
- IV … 橙褐色強粘質土層



GL

-100cm

西前田遺跡土層柱状図



調査地（北西から）



Tr-01（南から）



Tr-02（東から）

3 上田城跡

- (1) 調査地 上田市中央西1丁目5-1
- (2) 遺跡番号 上田66
- (3) 原因 個人住宅建設
- (4) 調査日 平成28年6月21日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約20㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

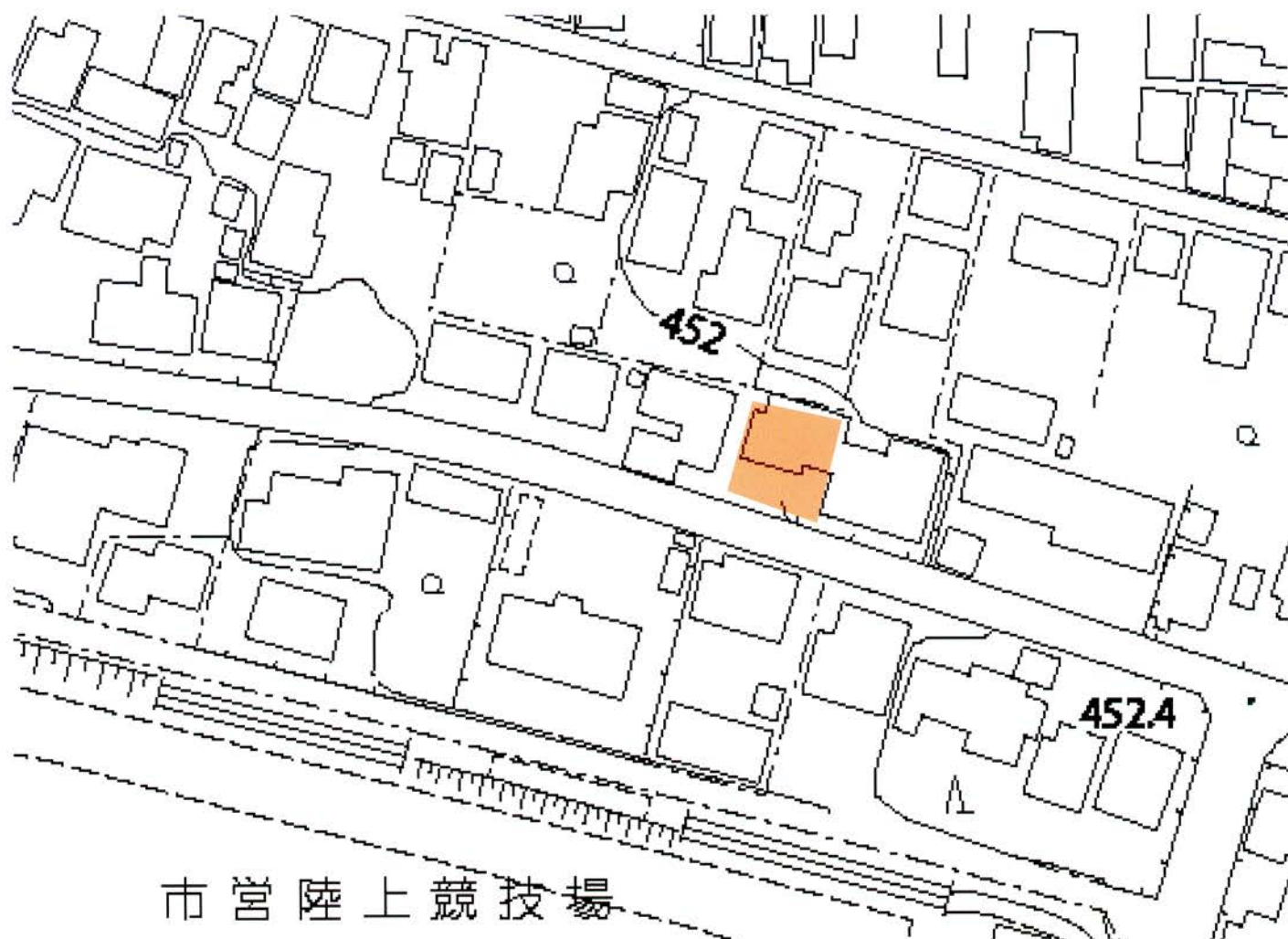
経過

上田城跡は二の丸までの範囲が国指定史跡となり、三の丸の範囲は武家地や町屋の周知の埋蔵文化財包蔵地となっている。

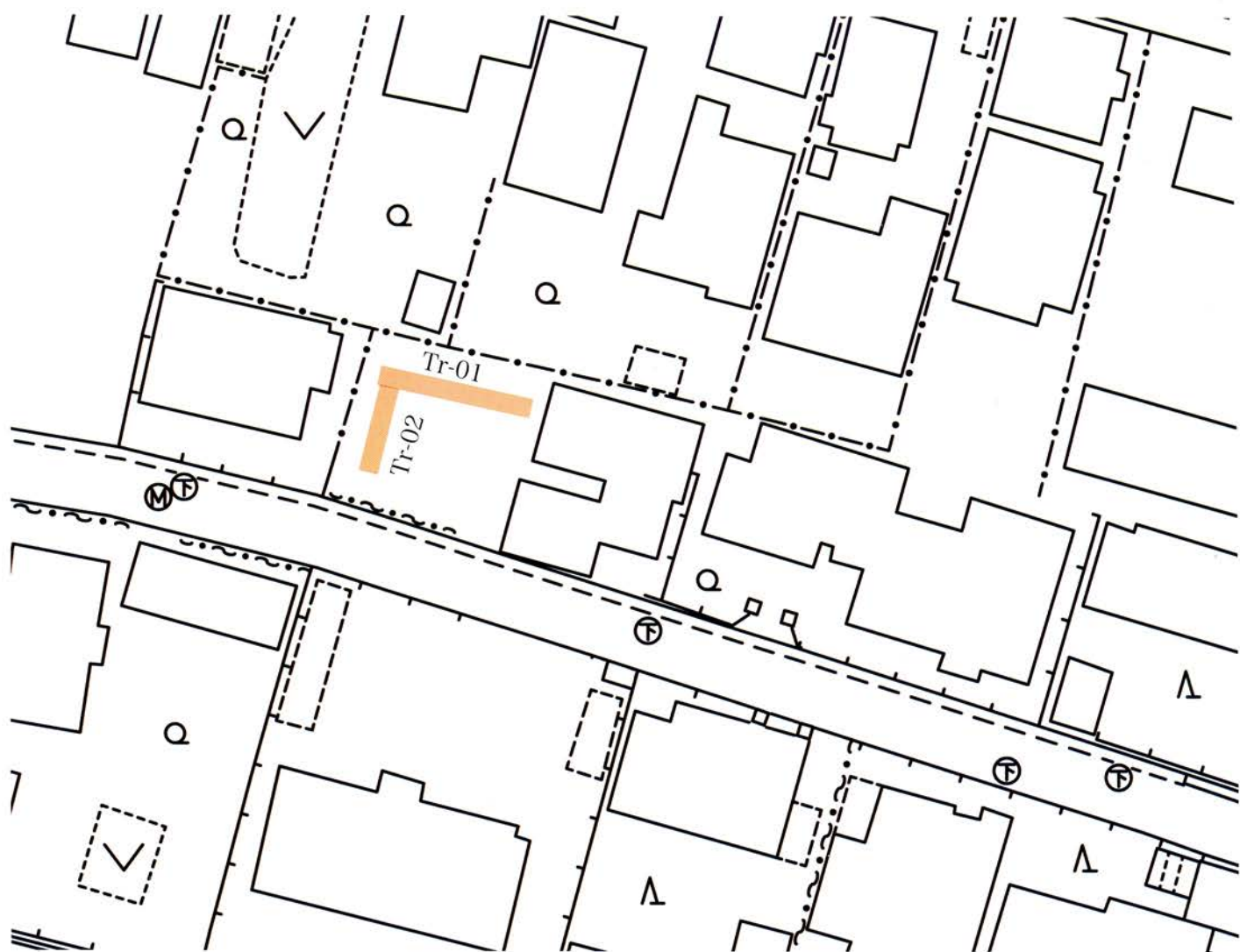
今回、この三の丸内において住宅建設の届出があり、確認の試掘調査を実施することとなった。

調査の結果

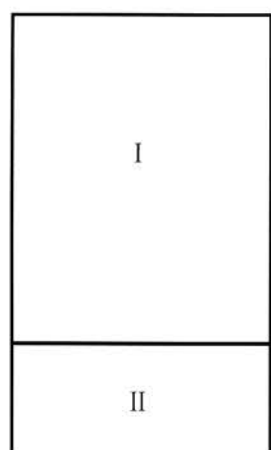
調査は住宅建設地に2本のトレンチL字に入れて実施した。その結果、遺構・遺物の検出はまったくなく、当該地に遺跡が残っていないことが判明した。



調査位置図 (1/2500)



上田城跡試掘調査トレンチ設定図 (1/1000)



Tr-01,02



土層凡例

- I … 灰黒色砂質土層 (表土)
- II … 橙灰色弱粘質土 (泥流層)

上田城跡土層柱状図



Tr-01 (西から)



Tr-01 (東から)



Tr-01,02 トレンチ掘削状況
(北西から)

4 下村遺跡

- (1) 調査地 上田市十人71
- (2) 遺跡番号 上田216
- (3) 原因 集会所建設
- (4) 調査日 平成28年10月18日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約60㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

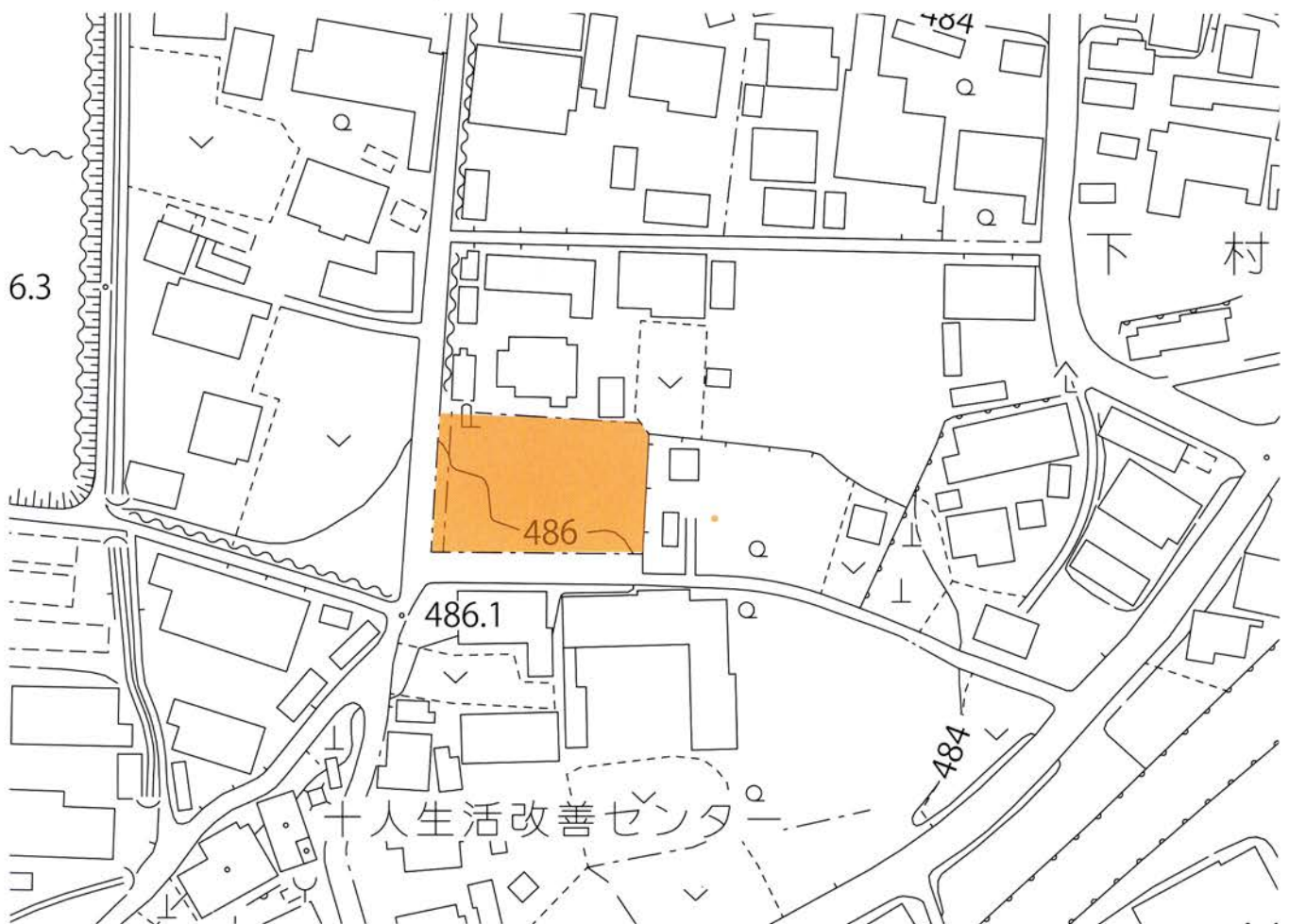
経過

下村遺跡は、「上田市の原始・古代文化」によれば、『甲田池の南方約100m付近から、南北およそ150m、東西およそ150m範囲にわたって、東北に下村、西南に中村の2遺跡が並列し、弥生後期の箱清水式、後期の土師・須恵器が出土している。』とある。

今回、この調査地の北側に集会所を建設する届出があり、確認調査を実施することとした。

調査の結果

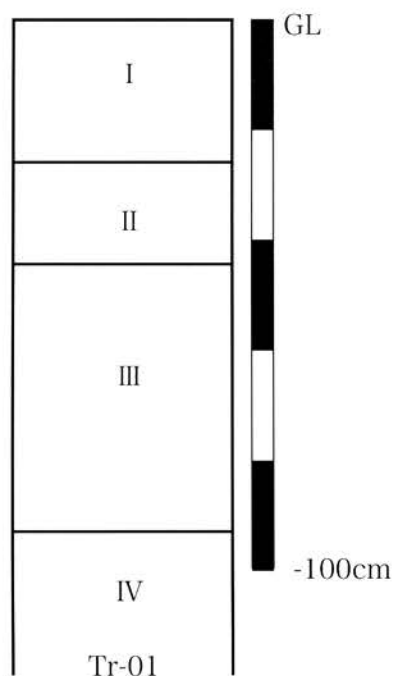
調査は届出地に1本のトレンチを入れて実施した。その結果、遺構・遺物の検出はまったくなく、当該地に遺跡が広がっていないことが判明した。



調査位置図 (1/5000)



下村遺跡試掘調査トレンチ設定図 (1/1000)



土層凡例

- I…角礫・洗い砂土層（埋土）
- II…黒褐色強粘質土層（旧耕作土）
- III…茶褐色強粘質土層
- IV…橙褐色強粘質土層

下村遺跡土層柱状図



調査地（北西から）



Tr-01（北から）



Tr-01（北東から）

5 西前田遺跡Ⅱ

- (1) 調査地 上田市中之条688
- (2) 遺跡番号 上田367
- (3) 原因 宅地造成
- (4) 調査日 平成28年10月18日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約50㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

経過

西前田遺跡は、『上田市の原始・古代文化』によれば、「中之条公民館の東方から、県道上田稲荷山線の北側に、東西およそ400m(東端は寺院裏付近)、南北およそ200mにわたって、東から東町・西町・宮方の5遺跡があり、県道南側の畑および水田地帯に、東西およそ600m、南北およそ100mにわたって、東から上前田・中前田・下前田・西前田の4遺跡が帯状に分布し、更に中前田遺跡の南方150mにわたって関石・額面の2遺跡がある。」

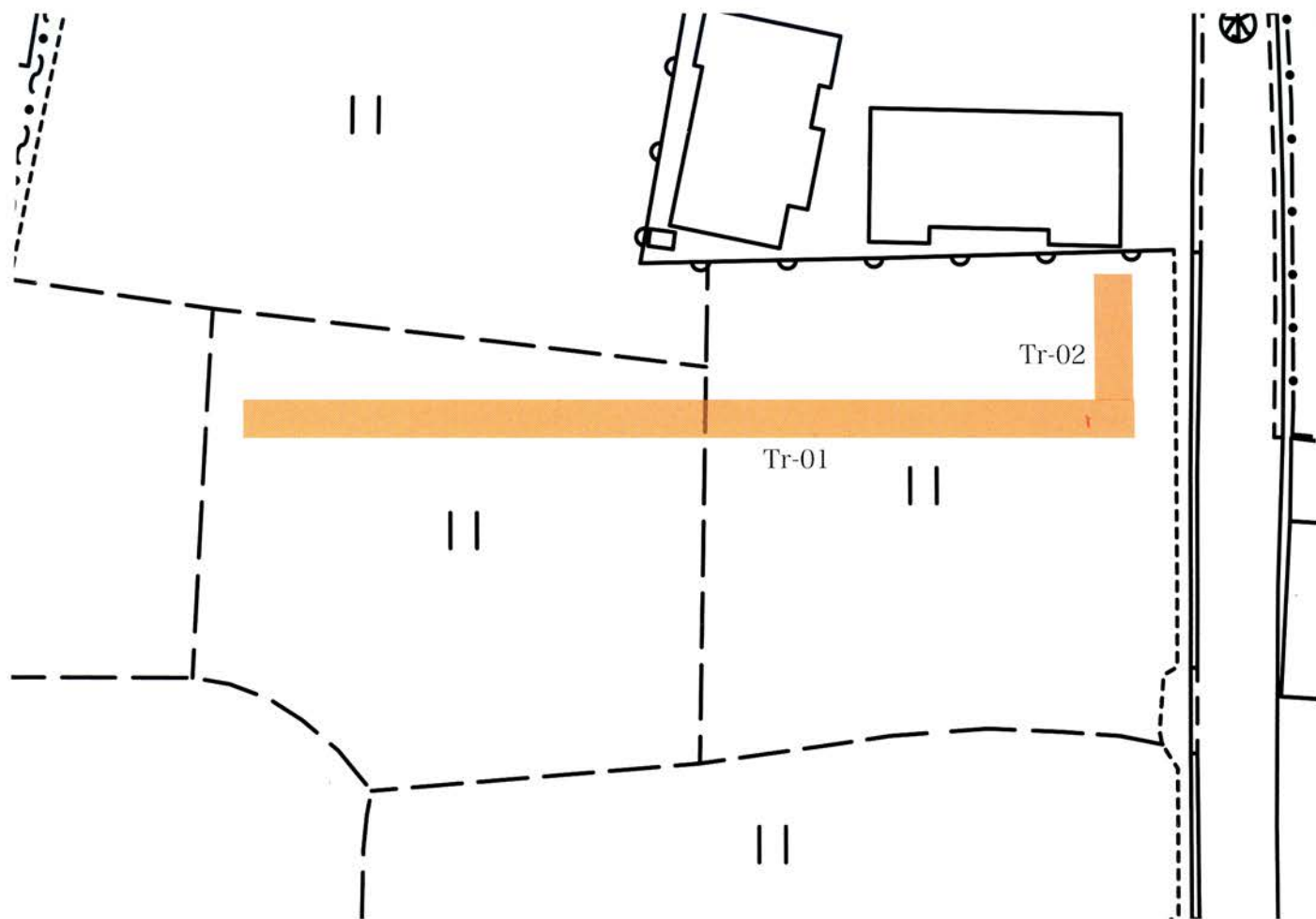
今回、宅地造成の届出があったが、従前に周辺の発掘調査の履歴がなく、遺跡の有様が分からないため、遺跡の確認調査を実施した。

調査の結果

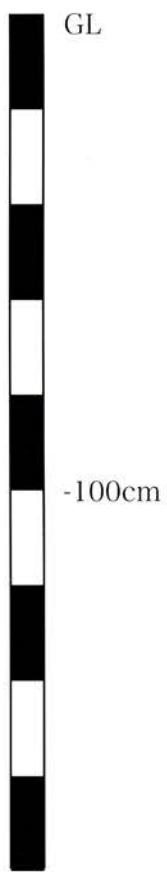
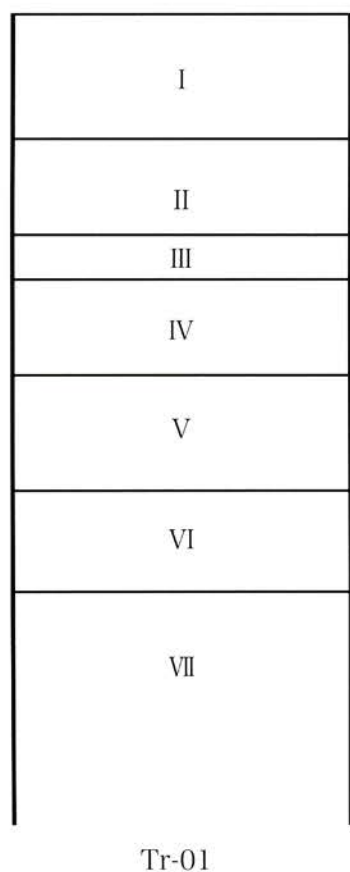
調査は届出地に2本のトレンチをL字状に入れて実施した。その結果、遺構・遺物の検出はまったくなく、当該地に遺跡が存在しないことが判明した。



調査位置図 (1/2500)



西前田遺跡試掘調査トレンチ設定図 (1/1000)



土層凡例

- I … 灰褐色弱粘質土層 (耕作土)
- II … 橙灰色弱粘質土層 (溶脱層)
- III … 褐灰色強粘質土層
- IV … 橙灰色強粘質土層・溶脱層が混じる
- V … 褐灰色弱粘質土層
- VI … 橙灰色弱粘質土層
- III … 橙灰色砂質土層

西前田遺跡土層柱状図



調査着手前（東から）



Tr-01（東から）



Tr-01（西から）

6 上田城跡(御作事場)

- (1) 調査地 上田市大手2丁目5-6
- (2) 遺跡番号 上田66
- (3) 原因 住宅建設
- (4) 調査日 平成28年10月24日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約10㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

経過

上田城跡は二の丸までの範囲が国指定史跡となり、三の丸の範囲は周知の埋蔵文化財包蔵地となっている。調査地は城の東側、「御作事場」の東にあたり、堀の存在が想定される。

今回、個人住宅建設の届出があり、事前に発掘調査を実施して遺構の確認を実施した。

調査の結果

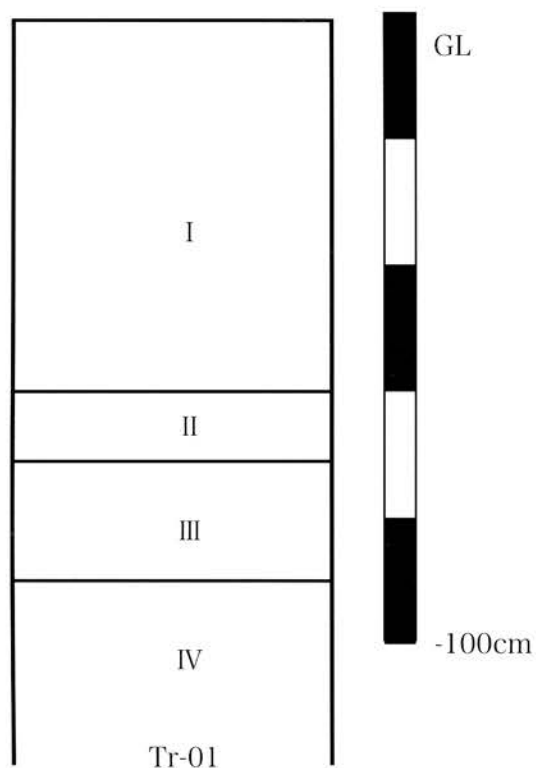
調査は届出地に1本のトレンチを入れて実施した。その結果、遺構・遺物の検出はまったくなく、当該地に遺跡が存在しないことが判明した。



調査位置図(1/2500)



上田城跡（御作事場）試掘調査トレンチ設定図 (1/1000)



土層凡例

- I … 角礫と洗い砂の弱粘質土層（埋土）
- II … 灰白色砂質土層
- III … 灰色砂質土層
- IV … 褐灰色粘質土層

上田城跡（御作事場）土層柱状図



調査着手前（東から）



Tr-01（西から）



Tr-01（東から）

7 常入遺跡群

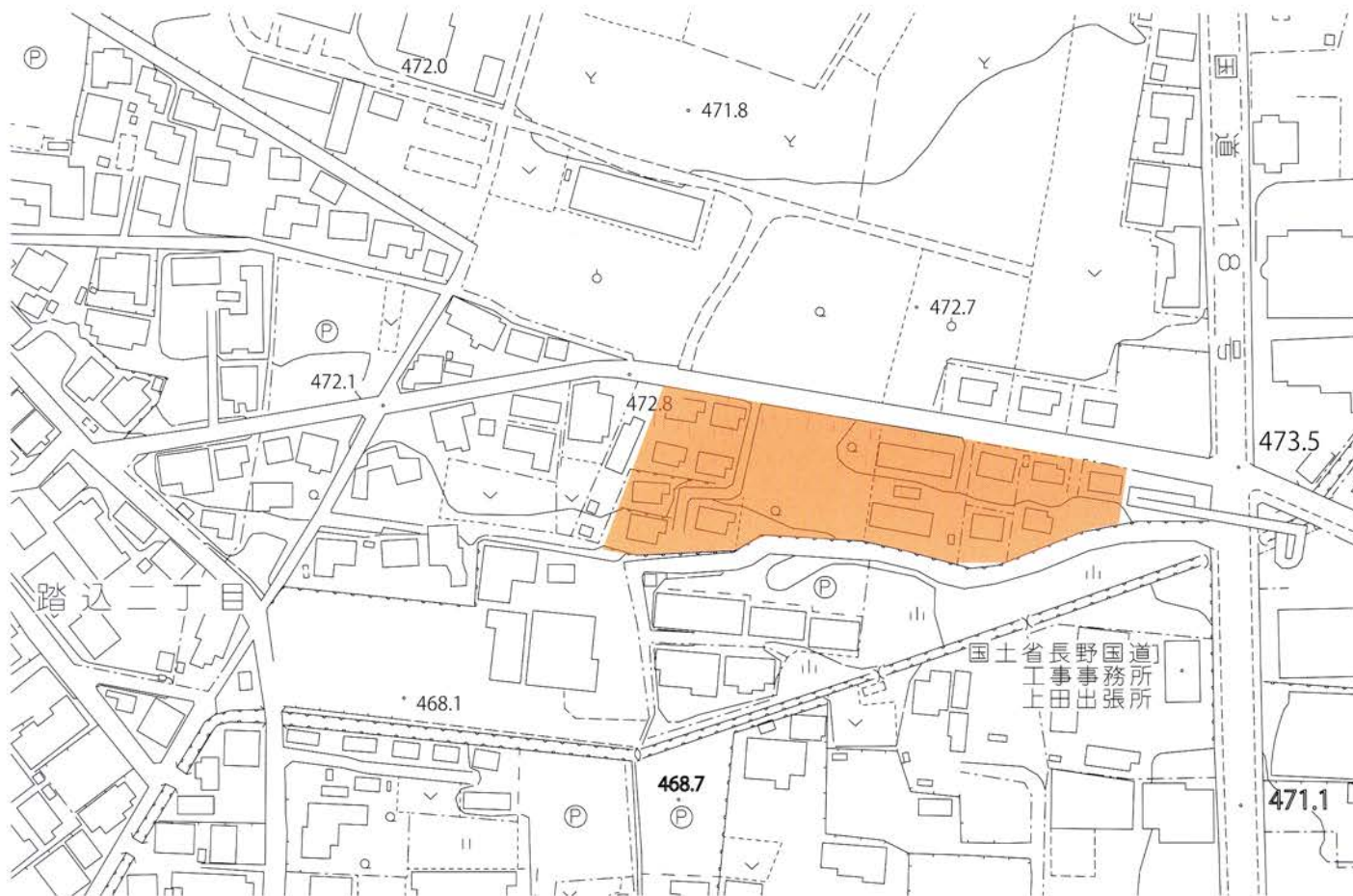
- (1) 調査地 上田市踏入2丁目16 信州大学手筒山宿舍
- (2) 遺跡番号 上田57
- (3) 原因 大学施設建設
- (4) 調査日 平成28年10月24日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約70㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

経過

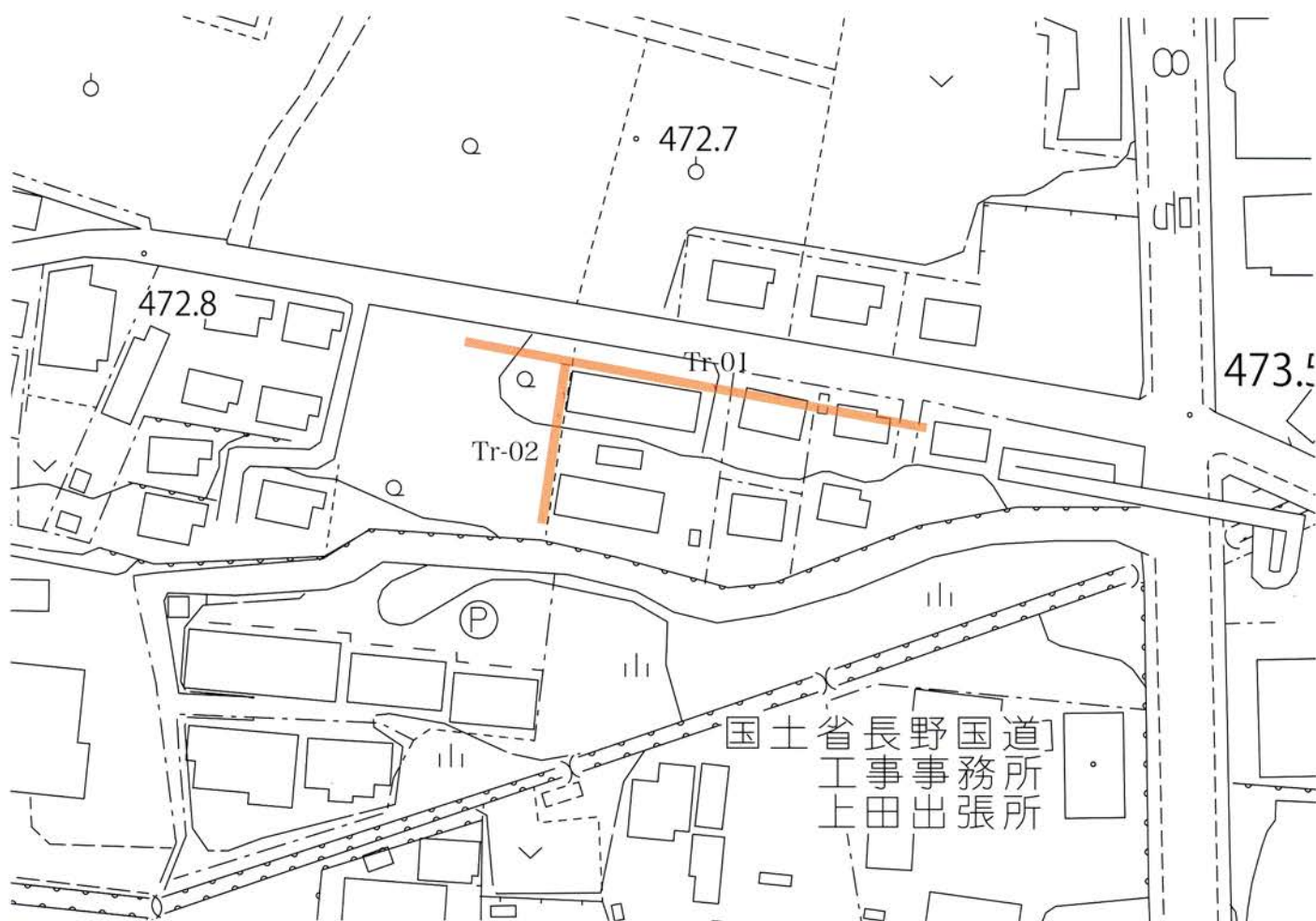
常入遺跡群は「上田市の原始・古代文化」(上田市教育委員会 1974年)によれば、『信州大学繊維学部敷地の中央部から、常田池の南方にかけて、東西およそ650m、南北およそ400mの広範囲な地籍に、繊維学部敷地から常田池の西方にかけて、北部で、下町田・上町田の2遺跡、中央部で中村・西町田・東町田の5遺跡、段丘端に接する南部で手筒山、藤ノ森の2遺跡が続いている。(後略)』とあり、また、平成7年以降、繊維学部構内の発掘調査によって、箱清水期の集落址が確認されている。今回、信州大学繊維学部の手筒山宿舍跡地の再開発事業に伴い、手筒山遺跡の範囲を確認するため、調査を実施した。

調査の結果

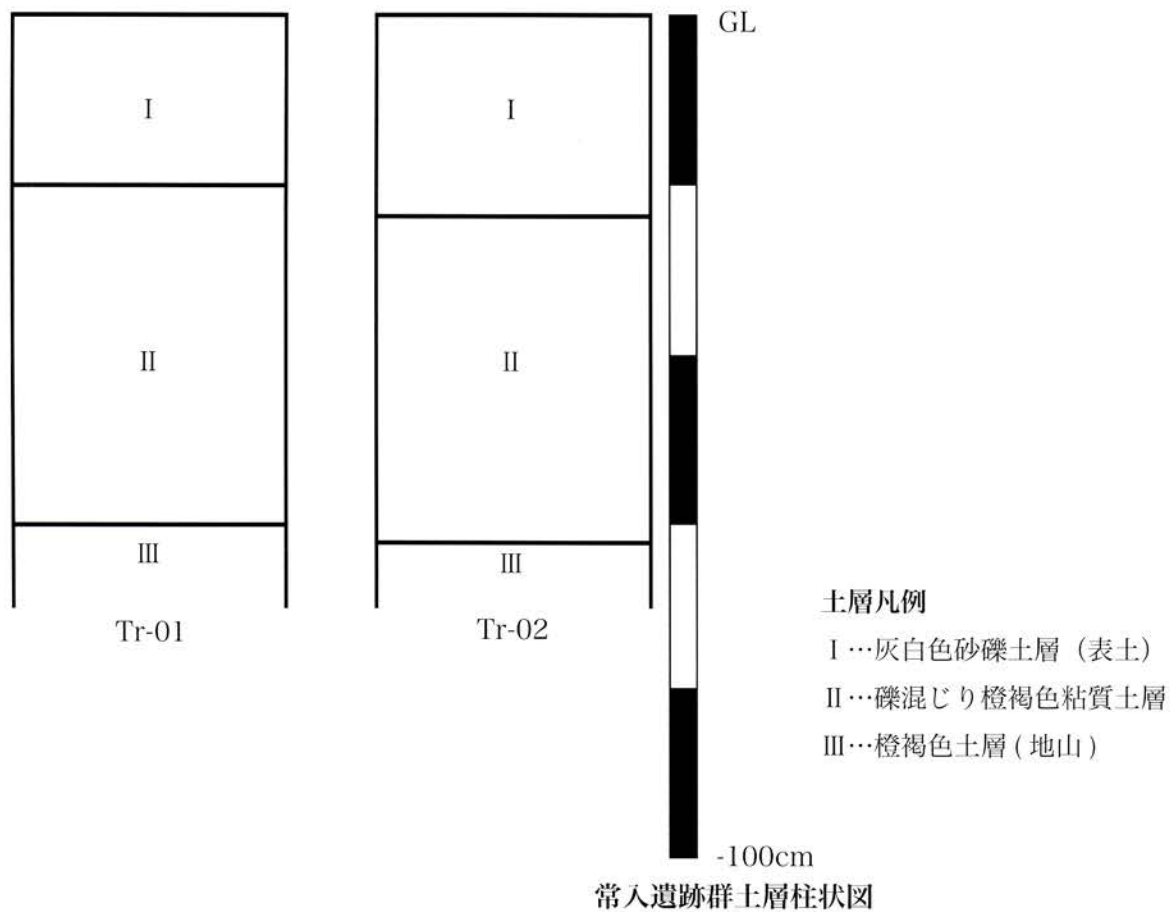
調査は届出地に2本のトレンチをT字状に入れて実施した。その結果、GL-60cmから弥生時代後期の遺跡が調査範囲の北西部に遺跡が広がっていることが確認された。



調査位置図 (1/10000)



常入遺跡群試掘調査トレンチ設定図 (1/1000)





Tr-01 (東から)



Tr-01 (西から)



Tr-02 (北から)

8 染屋台条里水田跡遺跡

- (1) 調査地 上田市古里 1745 番地
- (2) 遺跡番号 上田 5 6
- (3) 原因 個人住宅建設
- (4) 調査日 平成 28 年 12 月 9 日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約 30m²
- (7) 調査担当者 中沢徳士

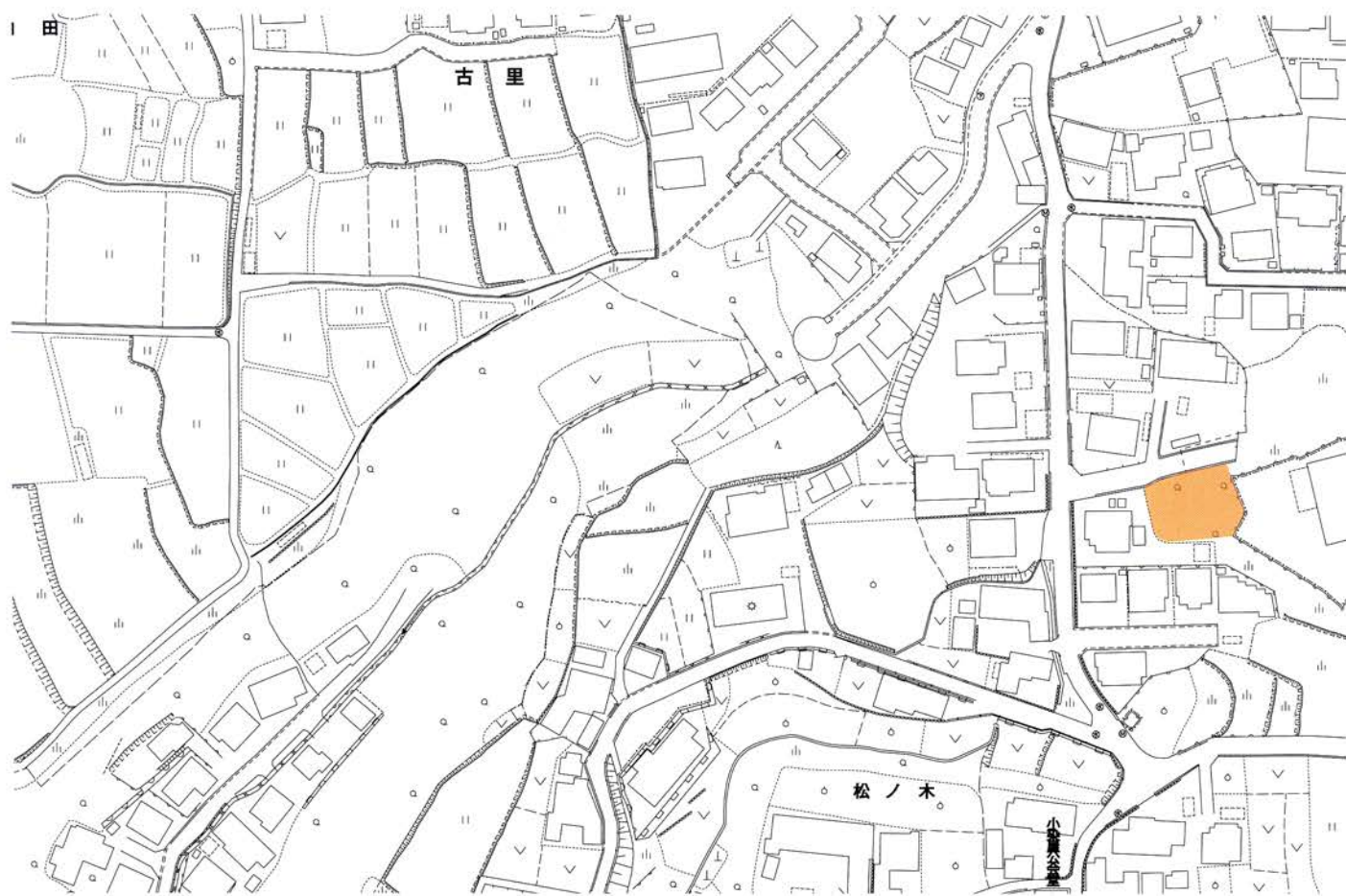
経過

染屋台条里水田跡遺跡は市街地の北東部に広がる条里水田遺跡で、千曲川と神川によって形成された河岸段丘上に位置する。この台地は通称染屋台と呼ばれており、上田市文化財分布図では台地全体を条里水田遺跡として括っているものの、一部を除いて詳細な分布調査はなされていない。しかし、大規模開発事業等に伴う発掘調査や試掘調査等によって、幾つかの集落遺跡等が確認されており、少しずつではあるが台地上の遺跡の状況が把握されつつあるが、埋没条里等は未だに確認されていない。

今回、同遺跡内において個人住宅の建築が計画されたため、事前に試掘調査を実施して、遺跡の確認を実施した。

調査の結果

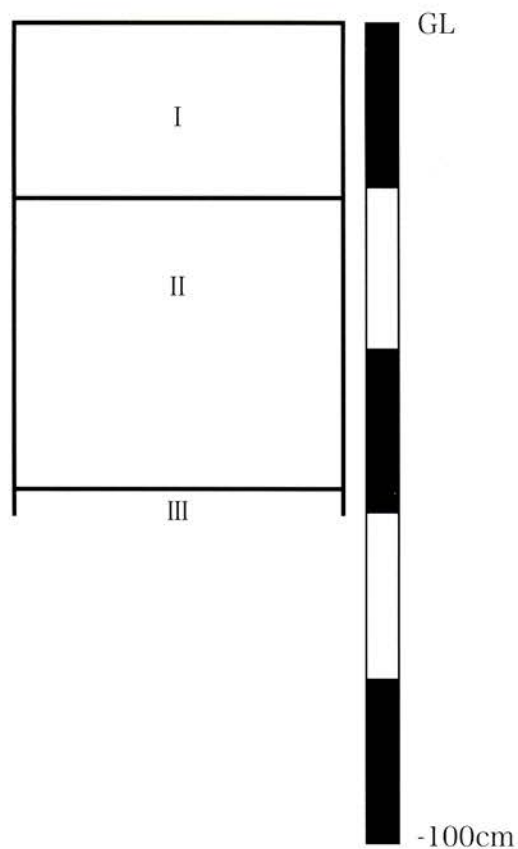
調査は幅約 1 m のトレンチを 2 本 L 字状に入れて実施した結果、遺構・遺物の検出は皆無であった。



調査位置図 (1/2500)



染屋台条里水田跡遺跡試掘調査トレンチ設定図 (1/1000)



土層凡例

- I … 灰褐色砂質土層（耕作土）
- II … 橙灰色弱粘質土層
- III … 橙色堅質土層

染屋台条里水田跡遺跡土層柱状図



9 上田城跡

- (1) 調査地 上田市中心4丁目5-9
- (2) 遺跡番号 上田66
- (3) 原因 個人住宅建設
- (4) 調査日 平成28年12月15日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約20㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

経過

上田城跡は二の丸までの範囲が国指定史跡となり、三の丸の範囲は武家地や町屋の周知の埋蔵文化財包蔵地となっている。今回、この三の丸内において住宅建設の届出があり、確認の試掘調査を実施することとなった。

調査の結果

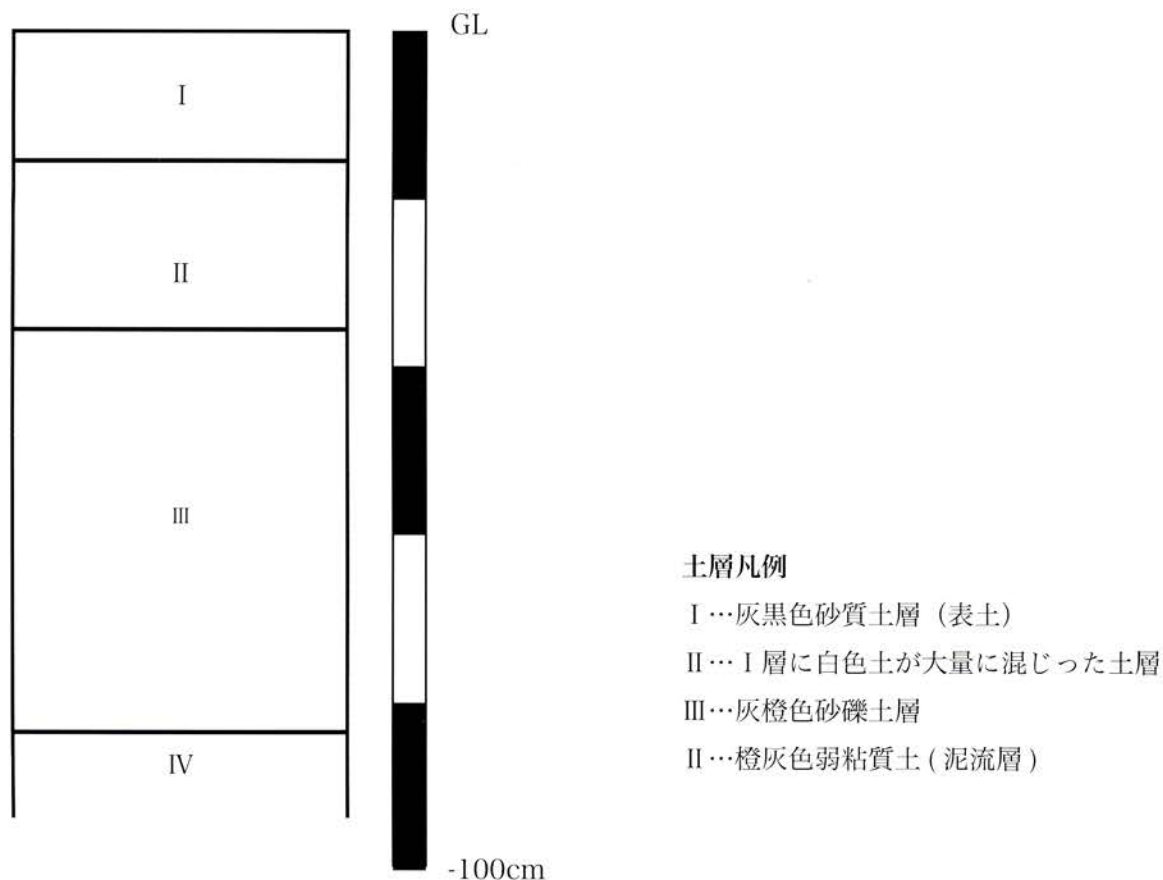
調査は住宅建設地に2本のトレンチL字に入れて実施した。その結果、遺構・遺物の検出はまったくなく、当該地に遺跡が残っていないことが判明した。



調査位置図 (1/2500)



上田城跡試掘調査トレンチ設定図 (1/1000)



上田城跡土層柱状図



調査地（南から）



Tr-01(南から)



Tr-01(南から)

10 常入遺跡群

- (1) 調査地 上田市踏入2丁目3-1
- (2) 遺跡番号 上田57
- (3) 原因 店舗建設
- (4) 調査日 平成28年12月15日
- (5) 調査方法 バックホーによるトレンチ調査
- (6) 調査面積 約20㎡
- (7) 調査担当者 中沢徳士

経過

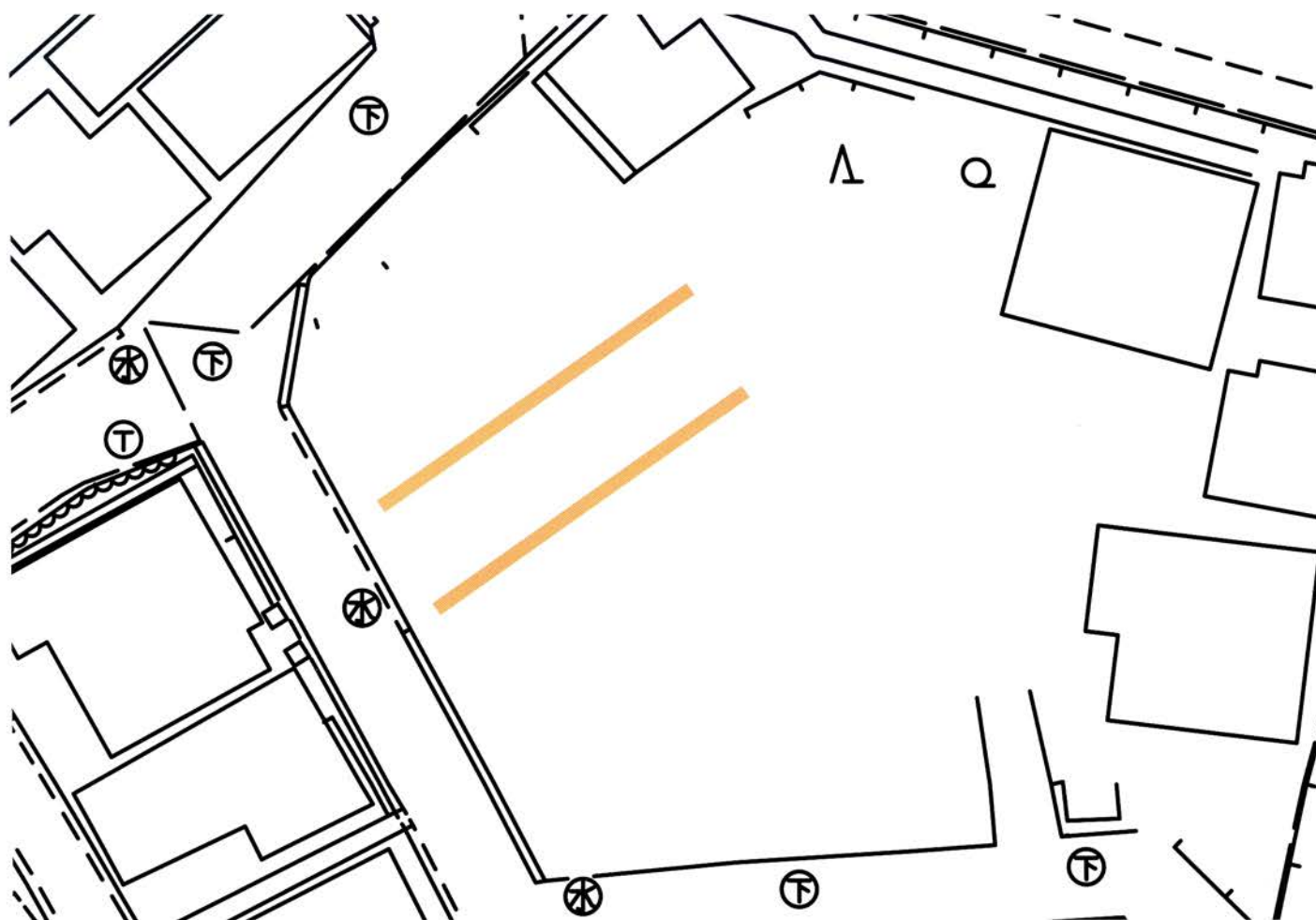
常入遺跡群は常田池の周辺に広がる遺跡群で、『上田市の原始・古代文化』には、「信州大学繊維学部敷地の中央部から、常田池の南方にかけて、東西およそ650m、南北およそ400mの広範囲な地籍に、繊維学部敷地から常田池の西方にかけて、北部で下町田。上町田の2遺跡、中央部で中村・西町田・東町田の3遺跡、段丘端に接する南部で手筒山・藤ノ森の2遺跡」があり、「いずれも弥生後期の箱清水式土器、前期から晩期にわたる土師。須恵器を出上し、一体の遺跡と思われる」とある。またこの間は、繊維学部構内で緊急発掘調査が数次にわたって実施され、弥生時代後期の優良な遺跡が確認されている。遺跡の範囲については、この間の試掘調査や工事立会で徐々に確認されつつあり、遺跡の南限については、信州大学繊維学部のある微段丘上であり、旧北国街道を境とした南側の微段丘下には遺跡が広がっていない。今回、大学の正門南に店舗建築の届出があり、付近ではこれまで発掘調査等の知見がないため、工事着手前に発掘(試掘)調査を実施した。

調査の結果

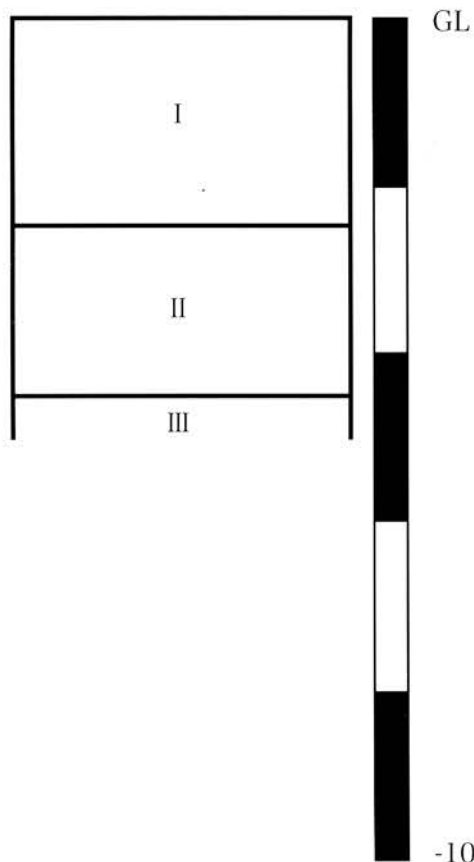
調査は届出地に2本のトレンチを入れて実施した。その結果、調査地からは遺構・遺物の出土はまったくなかった。



調査位置図 (1/2500)



常入遺跡群試掘調査トレンチ設定図 (1/1000)



土層凡例

- I…礫混じり黒色高湿度土層 (表土)
- II…黒色強粘質土層
- III…橙褐色砂礫質土層 (泥流層)

常入遺跡群土層柱状図



Tr-01 掘削（南から）



Tr-02 掘削（南から）



トレンチ土層（西から）

報告書抄録

ふりがな	しないいせき
書名	市内遺跡
副書名	平成28年度市内遺跡発掘調査報告書
シリーズ名	上田市文化財調査報告書
シリーズ番号	第128集
編著者名	中沢徳士
編集機関	上田市教育委員会
所在地	〒386-0025 長野県上田市天神一丁目8番1号 TEL0268(23)6362
発行年月日	西暦2017年3月25日

所収遺跡名	所在地	コード		調査開始日	調査対象及び掘削面積(m)		調査の原因	
		市町村	遺跡番号					
上田城跡	上田市中央西	20203	上田	66	6月3日	300	50	個人住宅建設
西前田遺跡	中之条519-4		上田	100	6月14日	500	80	児童施設建設
上田城跡	中央西1-5-1		上田	66	6月21日	200	20	個人住宅建設
下村遺跡	十人71		上田	216	10月18日	600	60	集会所建設
西前田遺跡	中之条688		上田	100	10月18日	1,200	50	宅地造成
上田城跡(御作事場)	大手2丁目5-6		上田	66	10月24日	200	20	個人住宅建設
常入遺跡群	踏入2丁目16		上田	57	10月24日	3,000	150	大学施設建設
染屋台条里水田跡遺跡	古里1745		上田	56	12月9日	500	30	個人住宅建設
上田城跡	中央4丁目5-9		上田	66	12月15日	200	10	個人住宅建設
常入遺跡群	踏入2丁目3-1		上田	57	12月15日	600	20	店舗建設

所収遺跡名	種別	主な時代	検出遺構	出土遺物	保護措置
上田城跡	城館跡	中近世	なし	なし	
西前田遺跡	散布地	奈良・平安	なし	なし	
上田城跡	城館跡	中近世	なし	なし	
下村遺跡	散布地	弥生・平安	なし	なし	
西前田遺跡	散布地	奈良・平安	なし	なし	
上田城跡(御作事場)	城館跡	中近世	なし	なし	
常入遺跡群	集落跡	弥生・古墳	なし	なし	
染屋台条里水田跡遺跡	条里遺構	平安・中世	なし	なし	
上田城跡	城館跡	中近世	なし	なし	
常入遺跡群	集落址	弥生・古墳	なし	なし	

上田市文化財調査報告書第128集

市 内 遺 跡

平成28年度市内遺跡発掘調査報告書

発行日 平成29(2017)年3月25日

発 行 上田市・上田市教育委員会

長野県上田市天神一丁目8番1号 TEL0268(23)6362

印 刷 一喜堂印刷

〒386-0401 長野県上田市塩川 630-30